



▲こっけいなやりとり、思わず笑いが起こります

茂山狂言会による「狂言会」が日吉町生涯学習センターにて行われ、「蝸牛」と「棒縛」が上演されました。「蝸牛」では、カタツムリを見たことがない太郎冠者が『頭が黒くて、腰に貝をつけ…』山伏の姿をカタツムリだと思ひ込みます。面白がってなりすます山伏が「でーんでん、むーしむし」と繰り返すお囃子に、会場は大きな笑いに包まれました。年齢を問わず、小さなお子さんでも楽しまれた舞台でした。

(11/12・狂言会・日吉町)

## 「子どもも大人も笑える狂言の面白さ」



▲難しいけれど楽しいそば打ち、職人に指導を受けます

## 「そばを通じた交流 毎年夏と秋に開催」

そば作りの体験を通じて、美山町鶴ヶ岡地区と京都市内の住民らが交流を行っている「ごんべの会」のそば収穫祭が鶴ヶ岡小学校で行われました。参加者は近くの畑で大根ほりをした後、手打ちそばと熱々の地鶏鍋に舌鼓を打ちました。また、「実りの秋まつり」(同地区開催)に参加していた鶴ヶ岡小学校の児童も合流し、そば打ち職人の指導でそば打ち体験などをしました。

(11/19・ごんべの会・そば収穫祭・美山町)

11月18日・19日の2日間、美山大野ダム公園で、秋を彩るもみじ祭りが開催されました。地元美山の特産品や手作りのうまいもんフェア、立派な新鮮野菜が並ぶ青空市場など、訪れた人々で賑わいを見せていました。2日目は午後からあいにくの雨模様でしたが、午前中にはもちつき大会も行われ、燃えるように赤く色づいた見事な紅葉をめながらダム公園内を散策する家族連れの姿がありました。



▲丹精して作られた野菜が並ぶ青空市場

(11/18・第18回大野ダムもみじ祭り・美山町)

## 「秋真っ盛りの大野ダムでもみじ祭り」

## 「学校と家庭以外の社会を体験」

南丹市内の中学校では、学校と家庭以外の社会を知り、幅広い目で社会を見つめる機会にと、各職場で、実際の仕事を体験させる学習を行っています。

11月9日・10日の2日間は、園部中学校の2年生の生徒が、市内の54カ所の職場で体験を行いました。

南丹市役所には3人の生徒が文化祭の会場準備や広報取材などを体験。「お客さまに気持ちよく来ていただいて、気持ちよく帰っていただけるようにする」という姿勢を職員に教わりながら作業を行ったほか、広報取材では、同級生が頑張る姿を写真に収めていました。

(11/16・園部中生が職場体験・園部町)



▲広報取材体験をした生徒が撮影しました